

VERITAS™

InfoScale /
Veritas Alta Enterprise Resiliency
ライセンスガイド概要

2023年10月
ベリタステクノロジーズ合同会社





注意

本書は以下のライセンスガイドを補足して説明することを目的とし、2023年10月時点の情報を元に作成しています。InfoScale/Alta ライセンスに関する詳細は、以下のライセンスガイドをご参照ください。

https://sort.veritas.com/DocPortal/pdf/Infoscale_LicensingGuide

本書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあります。

目次

- このガイドの目的
- 製品の概要
- ライセンスの考え方
- 参考資料

このガイドの目的

本ガイドは主に以下を含む Veritas InfoScale および Veritas Alta のアプリケーションの回復力・レジリエンシー向け製品のライセンスについて、考え方を説明します。対象の製品は以下のとおりです。

Veritas InfoScale

- Foundation
- Storage
- Availability
- Enterprise
- Storage Resiliency for Kubernetes
- Enterprise for Kubernetes

Veritas Alta

- Storage Resiliency
- Availability Resiliency
- Enterprise Resiliency
- Storage Resiliency for Kubernetes
- Enterprise Resiliency for Kubernetes

注意 : InfoScale/Alta ライセンスに関する詳細は、以下のライセンスガイドをご参照ください。
https://sort.veritas.com/DocPortal/pdf/Infoscale_LicensingGuide

目次

- このガイドの目的
- **製品の概要**
- ライセンスの考え方
- 参考資料

Veritas InfoScaleについて

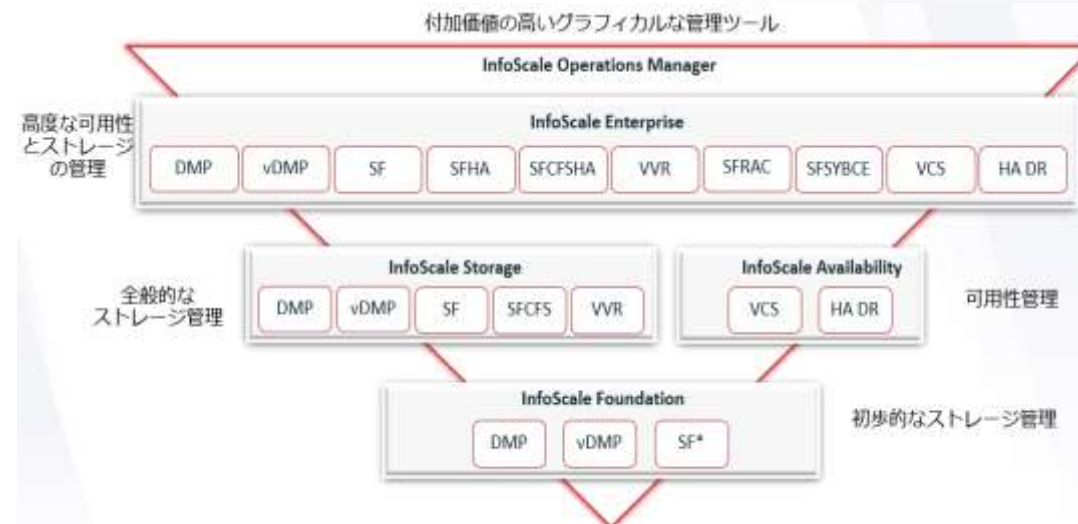
Veritas InfoScale™ 製品スイートはエンタープライズ IT におけるサービス継続性のニーズに対処します。物理、仮想、クラウド環境のデータセンター全体で、重要なサービスに耐性とソフトウェア定義のストレージを提供します。クラスタ化ソリューションは、地域全体でアプリケーションに高可用性とディザスタリカバリを提供します。

Veritas InfoScale™ 製品スイートでは、次の製品が提供されます。

- Veritas InfoScale™ Foundation
- Veritas InfoScale™ Storage*
- Veritas InfoScale™ Availability*
- Veritas InfoScale™ Enterprise*

*パブリッククラウド環境で使用する場合は、以下の製品が必要です。

- Veritas Alta™ Storage Resiliency
 - 旧 InfoScale Storage for Cloud です。
- Veritas Alta™ Application Resiliency
 - 旧 InfoScale Availability for Cloud です。
- Veritas Alta™ Enterprise Resiliency
 - 旧 InfoScale Enterprise for Cloud です。



Veritas InfoScale for Kubernetesについて

RedHat OpenShift、ネイティブKubernetes にエンタープライズグレードのストレージ管理機能を提供します。

■ Veritas InfoScale™ Storage Resiliency for Kubernetes*

Kubernetes 環境におけるステートフルワークロードのためのソフトウェア定義ストレージ機能を備えたコンテナ型アプリケーションを導入することができます。

■ Veritas InfoScale™ Enterprise for Kubernetes*

組織と DevOps エンジニアに、ソフトウェア定義ストレージ機能に加え、Kubernetes クラスター向けのディザスタリカバリなどの高度な弾力性機能を備えた、コンテナ型アプリケーション向けのエンタープライズクラスのデータサービスを展開可能です。

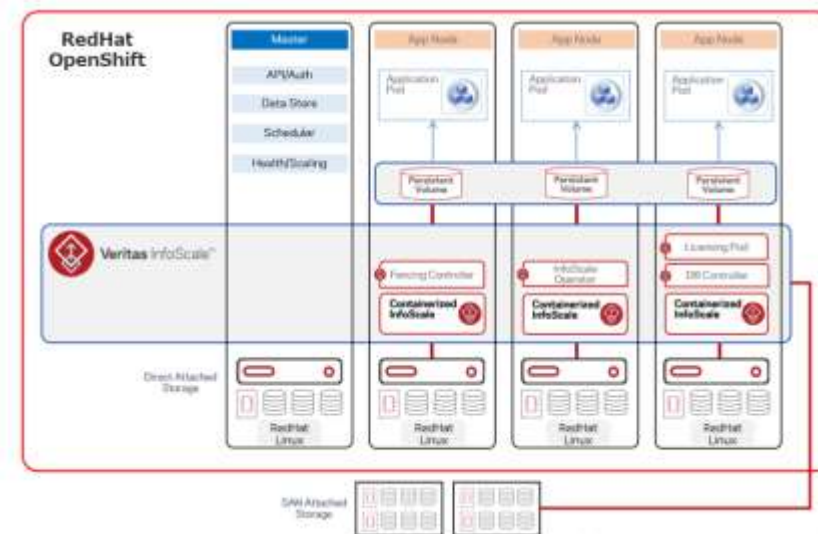
*パブリッククラウド環境で使用する場合は、以下の製品が必要です。

■ Veritas Alta™ Storage Resiliency for Kubernetes

- 旧 InfoScale Storage for Kubernetes Cloud Edition です。
- Azure Red Hat、OpenShift でのみ使用可能です。

■ Veritas Alta™ Enterprise Resiliency for Kubernetes

- InfoScale Enterprise for Kubernetes Cloud Edition とも呼ばれます。
- Azure Red Hat、OpenShift でのみ使用可能です。



パブリッククラウド向けアプリケーションの回復力・レジリエンシー製品について

- **Veritas Alta™ Storage Resiliency**は、ビジネスクリティカルなアプリケーションをサポートするように設計されたインテリジェントなクラウドストレージ 管理を提供します。この専用ソリューションは、クラウドネイティブなブロックストレージサービスを活用して、効率的なエンタープライズクラスの共有ストレージを構築し、アプリケーションのパフォーマンスと回復力を向上させながら、総所有コストを削減します。
- **Veritas Alta™ Application Resiliency**では、クラウド内のアプリケーションに関連付けられているネットワーク、ストレージ、レプリケーションリソースの監視とフェールオーバーの機能を利用できます。
- **Veritas Alta™ Enterprise Resiliency** は、ビジネスクリティカルなアプリケーションのワークロードパフォーマンスと高可用性を最適化する、自己 管理型のクラウドベースソリューションです。リアルタイムの監視と障害解決を提供することで、潜在的な停止時間を最小限に抑え、エンタープライズサービスの継続性を維持できるようにします。

これらのコンポーネントを使用して、次の用途にアプリケーションを設定できます。

- オンプレミスからクラウドまたはクラウド間での移行
- クラウド内での高可用性またはディザスタリカバリ
- オンプレミスからクラウドまたはクラウド間でのディザスタリカバリ

InfoScale / Alta Resiliency 機能比較概要

製品	概要	コンポーネント
オンプレミス : InfoScale™ Foundation	Veritas InfoScale™ Foundation では、ストレージ利用率を高め、ストレージのI/O パスの可用性を向上させながら、異機種混在オンラインストレージ管理のための包括的なソリューションを提供します。	<ul style="list-style-type: none"> • SF (Storage Foundation)標準 (エントリーレベル機能)
オンプレミス : InfoScale™ Storage クラウド : Alta™ Storage Resiliency	組織はハードウェアのタイプや場所に関係なくストレージをプロビジョニングおよび管理できるとともに、予測可能なサービスの質、高いパフォーマンス、投資利益率の改善を実現できます。	<ul style="list-style-type: none"> • Replication を含めたStorage Foundation (SF) • Enterprise Storage Foundation Cluster File System (SFCFS)
オンプレミス : InfoScale™ Availability クラウド : Alta™ Application Resiliency	組織の情報をいつでも利用可能な状態にし、オンプレミスおよび世界中に分散されたデータセンターで重要なビジネスサービスを稼働状態に保つことができます。	<ul style="list-style-type: none"> • HA/DR を含めた Cluster Server (VCS)
オンプレミス : InfoScale™ Enterprise クラウド : Alta™ Enterprise Resiliency	エンタープライズ IT におけるサービス継続性のニーズに対処します。これは、クリティカルサービスに対する耐性とソフトウェアデファインドストレージをデータセンターインフラ全体に提供します。	<ul style="list-style-type: none"> • HA/DR を含めた Cluster Server (VCS) • Replication を含めた Storage Foundation (SF) • Enterprise SFHA (Storage Foundation and High Availability) • SFCFSHA (Storage Foundation Cluster File System High Availability) • Storage Foundation for Oracle RAC (SF Oracle RAC)

Veritas InfoScale 製品 の各製品は 1 つ以上のコンポーネントで構成されています。製品内の各コンポーネントでは、お客様の環境での使用のために設定できる独自の機能が提供されます。

InfoScale / Alta Resiliency 機能比較概要

Kubernetes環境

製品	概要	耐障害性	クラスタまたはノードの制限
オンプレミス : InfoScale Storage For Kubernetes クラウド : Alta Storage Resiliency For Kubernetes	サブスクリプション・モデルとして提供される1つまたは複数のK8sクラスタ（オンプレミスまたはクラウド）の製品機能マトリックスに記載されているすべてのストレージ機能。	DR機能は使用不可	オンプレミスまたはクラウド環境にデプロイされた1つまたは複数のKubernetesクラスタ。
オンプレミス : InfoScale Enterprise For Kubernetes クラウド : Alta Enterprise Resiliency For Kubernetes	ストレージ・エディションに含まれる全機能に加え、オンプレミスまたはクラウドでのディザスタリカバリ（DR）などの高度な機能をサブスクリプション・モデルとして提供	クラスタおよびアプリケーション名空間の回復力を備えたDR機能	オンプレミスまたはクラウド環境にデプロイされた1つまたは複数のKubernetesクラスタ
InfoScale™ for Kubernetes Developer Edition*	1台のK8sクラスタに最大3台のワーカーノードが利用可能。すべてのストレージエディション機能を含みます。	DR機能は使用不可	オンプレミスまたはクラウド環境にデプロイされた1つまたは複数のKubernetesクラスタでの内部的な非稼働用途で、各クラスタには最大3つのノードがあります。

*Veritas InfoScale™ for Kubernetes Developer Edition は、以下のページからダウンロードが可能です。

<https://www.veritas.com/ja/jp/form/trialware/veritas-infoScale-for-kubernetes-developer-edition>

注意: Veritas InfoScale™ for Kubernetes Developer Edition は、製品サポート並びにソフトウェア更新はございません。

目次

- このガイドの目的
- 製品の概要
- ライセンスの考え方
- 参考資料

ライセンスの考え方

ライセンスメーターとライセンスモデル

■ ライセンスメーター

Core Plusメーターは、環境内のCPUコアの総数に、コア属性に基づく対応するコア係数を掛けたものに基づいています。ライセンスはクロスプラットフォーム（つまり、オペレーティングシステムに固有ではない）であり、組織が所有する製品エディション（例: Enterprise または Storage）のライセンス数に基づいて、サポートされているあらゆるオペレーティングシステムに導入することが可能です。

Veritas InfoScale コア係数表は、https://sort.veritas.com/license_calc でご覧いただけます。

■ ライセンスモデル

InfoScaleファミリーのデフォルトのライセンスは、サブスクリプションです。

サブスクリプションまたは期間限定ライセンスでは、組織は指定された期間（36ヶ月、48ヶ月、60ヶ月など）に製品のライセンスを受けことができ、メンテナンスとサポートはサブスクリプションの価格に含まれています。サブスクリプションの期間中、組織は製品を使用する権利、メンテナンスとセキュリティアップデートの一部として提供される製品アップデートをインストールする権利、およびテクニカルサポートを受ける権利を有します。ライセンスは所有しませんが、現在のサブスクリプションをお持ちであれば、所有権のすべての権利を有します。

期間終了後、サブスクリプションを更新して、製品の使用を継続することができます。

ライセンスの考え方

物理サーバーに導入の場合

物理システムでInfoScale製品を実行している組織は、InfoScaleがインストールされ実行されている物理システムのすべてのコアのライセンスを取得する必要があります。物理サーバーへ導入に必要なライセンスの計算手順は以下の通りです。

1. ライセンスを取得する製品エディションについて、サーバーのコア・アーキテクチャに基づくコア数を決定する。
2. コアに対応するコア係数を掛け合わせ、Core Plusに必要なライセンス数を算出します。
3. コア係数は、CPUのグレードによって決定されます。

注意:

- クラウド環境におけるベアメタルシステム（ハイパーバイザーなし）に適用されます。
- 使用中の "コア "のみライセンスが必要です。
- カーネルレベルで無効化された "コア "はライセンスが不要です。

ライセンスの考え方

仮想サーバーに導入の場合

仮想サーバ環境でInfoScale製品を実行する組織は、InfoScaleがインストールされ実行されているコアのライセンスのみを取得する必要があります。 仮想サーバーへ導入に必要なライセンスの計算手順は、以下の通りです。

1. ライセンスを取得する製品エディションのすべての仮想ゲスト（仮想化サーバー）に割り当てられたコア・アーキテクチャに基づく仮想コアの数を決定する。
2. 仮想コアに対応するコア係数を掛け合わせ、Core Plusに必要なライセンス数を算出する。
3. 仮想コアに対応するコア係数は、物理コアのコア係数と同じです。

注意: このモデルは、AVS（Azure VMware Solution）などのパブリッククラウドでホストされるハイパーバイザーにも適用されます。

ライセンスの考え方

パブリッククラウドに導入の場合

パブリッククラウド環境でInfoScale製品を実行する組織は、InfoScaleがインストールされ実行されているコアのライセンスのみを取得する必要があります。パブリッククラウド環境へ導入に必要なライセンスの計算手順は以下の通りです。

1. ライセンスを取得する製品エディションのすべてのゲストに割り当てられたコアアーキテクチャに基づく仮想コアの数を決定します。
2. 仮想コアに対応するコア係数を掛け合わせ、Core Plusに必要なライセンス数を算出します。
3. 仮想コアに対応するコア係数は、クラウドインスタンスタイプによって決定されます。

Core Plusライセンスの計算

InfoScale の導入を予定に必要なライセンスの計算例

InfoScale の導入を予定に必要なライセンスの計算例を以下に示します。

- どCPU グレード を使用しますか？
- SORT 上のInfoScale License Calculator (https://sort.veritas.com/license_calc) を使用し、対象のCPUのコア係数を確認します。
- 各マシンの にいくつのコアがありますか？

例 :

HWタイプ	CPU グレード	コア係数	コア数	必要な Core Plus ライセンスの数
サーバ	Intel Xeon Gold 5320	1.1	26	29

- **計算式**

1台に必要なライセンス数 = コア係数 × コア数 = # Core Plus ライセンス

注意 : ライセンス数量算出の結果、小数点以下は「**切り上げ**」になります。

Core Plusライセンスの計算

InfoScale License Calculatorによる計算方法

オンプレミス

クラウド

1. InfoScale License Calculator (https://sort.veritas.com/license_calc) を開きます。

License calculators for the InfoScale/Storage Foundation family

InfoScale Core Plus on-premise InfoScale Core Plus for Cloud

InfoScale Core Plus FAQ

Core Plus is InfoScale's latest pricing model that was released on April 5th, 2021. Core Plus licensing enables you to use an InfoScale license on any platform regardless of OS and whether it's physical, virtual. Core Plus allows you to license only the server processor cores that you need and also adds a core coefficient based on performance so that slower processors cost less, and faster processors cost more.

This calculator determines the total number of Core Processor Units required for licensing compliance based on the processor model, # of processors, # of cores and a core coefficient.

* Required

* Processor Make/model:

e.g. ITANIUM, OPTERON, POWER, SPARC, and XEON.
[Processor coefficient table](#) – Updated May 19, 2023

2. 設定するInfoScaleの環境が、オンプレミス環境の場合は“InfoScale Core Plus on-premise”を、クラウド環境の場合は“InfoScale Core Plus for Cloud”を選択します。

次頁以降は、オンプレミス環境、クラウド環境に応じて操作方法を説明します。

Core Plusライセンスの計算

InfoScale License Calculatorによる計算方法

オンプレミス

3. InfoScaleを導入するサーバーのプロセッサを選択・入力します。

① "Processor coefficient table"をクリックします。

* Processor Make/model: |

e.g. ITANIUM, OPTERON, POWER, SPARC, and XEON.
[Processor coefficient table](#) – Updated May 19, 2023

② "Select The Appropriate Processor"画面がポップアップされてきます。
適切なプロセッサを選択してください。

4. 選択したプロセッサ名が以下の様に入力されます。

* Processor Make/model: Intel Xeon E-2276ME

e.g. ITANIUM, OPTERON, POWER, SPARC, and XEON.
[Processor coefficient table](#) – Updated May 19, 2023

Processor	Core Count	Coefficient
Intel Xeon E-2234	4	1.0
Intel Xeon E-2236	6	1.0
Intel Xeon E-2244G	4	1.0
Intel Xeon E-2246G	6	1.0
Intel Xeon E-2254ME	4	1.0
Intel Xeon E-2254ML	4	1.0
Intel Xeon E-2274G	4	1.0
Intel Xeon E-2276G	6	1.0
Intel Xeon E-2276M	6	1.0
Intel Xeon E-2276ME	6	1.0
Intel Xeon E-2276ML	6	1.0

Core Plusライセンスの計算

InfoScale License Calculatorによる計算方法

オンプレミス

5. サーバーに設定されているプロセッサの総コア数を入力します。

注意： InfoScaleをインストールするサーバーが複数ある場合は、サーバー台数分を入力します。

例： Xeon 8コアプロセッサを2基搭載したサーバーを4台設置する場合、 $4 \times 2 \times 8 = 64$ コアとなります。

* Total Number of Cores:

To determine the total core count:

- Total Number of Cores = # of server(s) X # of processor per server X Cores/processor
Example: For 4 servers with 2 Xeon 8 core processors, $4 \times 2 \times 8 = 64$ cores

6. “Calculate”ボタンをクリックします。

* Total Number of Cores:

To determine the total core count:

- Total Number of Cores = # of server(s) X # of processor per server X Cores/processor
Example: For 4 servers with 2 Xeon 8 core processors, $4 \times 2 \times 8 = 64$ cores

Calculate

Core Plusライセンスの計算

InfoScale License Calculatorによる計算方法

オンプレミス

7. 計算結果が表示されます。“Total Licenses”に記載されている数字が必要ライセンス数となります。

Calculate

Calculation Results

Processor Make - Model	Core/Processor	Total Number of Cores	Core Coefficient	Total Licenses
+ Intel Xeon E-2276ME	-	64	1.0	64

注意: プロセッサにより、“Core Coefficient”値が異なり、その結果、計算結果が以下の様に小数点になることがあります。
その場合は小数点以下は切り上げとなり、以下のケースでは10ライセンスとなります。

Calculation Results

Processor Make - Model	Core/Processor	Total Number of Cores	Core Coefficient	Total Licenses
+ Xeon Gold 6246	-	8	1.2	9.6

Core Plusライセンスの計算

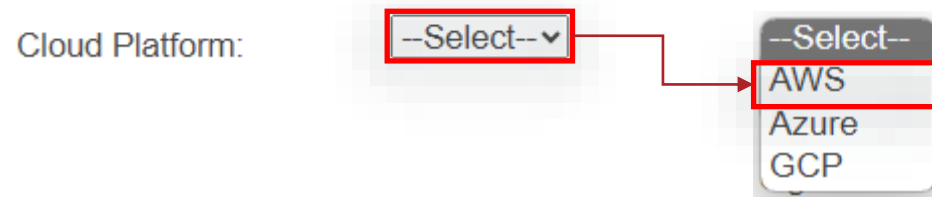
InfoScale License Calculatorによる計算方法

クラウド

3. InfoScaleを導入するクラウド環境(AWS/Azure/GCP)を選択します。

① "Cloud Platform"横の"--Select--"をクリックします。

* Required



② クラウド一覧が表示されます。InfoScaleを導入するクラウドを選択します。

4. InfoScaleを設定するインスタンス・タイプを設定します。

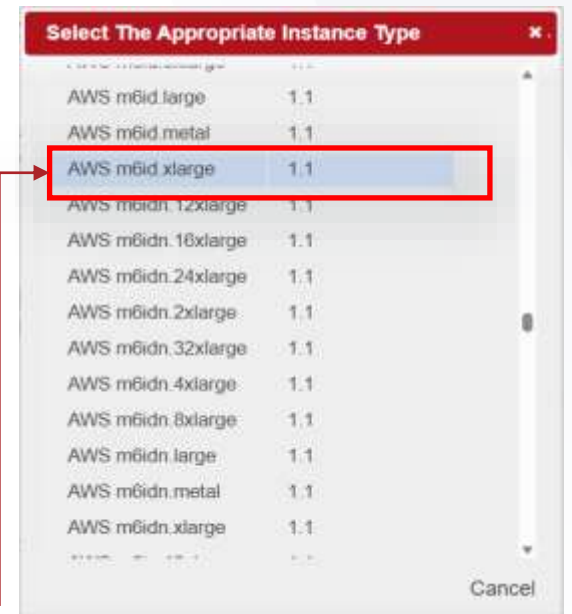
① "Instance type coefficient table"をクリックします。

Cloud Platform:

* Instance Type:

② "Select The Appropriate Instance Type"画面がポップアップされてきます。適切なインスタンスを選択してください。

e.g. c4.2xlarge, B16MS, E2a v4, a2-highgpu-1g, and g1-small.
[Instance type coefficient table](#) - Updated May 19, 2023



Core Plusライセンスの計算

InfoScale License Calculatorによる計算方法

クラウド

5. インスタンスに設定されているvCPU数を入力します。

注意：InfoScaleをインストールするインスタンスが複数ある場合は、インスタンス台数分を入力します。

* Total Number of vCPU:

6. “Calculate”ボタンをクリックします。

* Total Number of vCPU: 16

Calculate

7. 計算結果が表示されます。“Total Licenses”欄に表示された数値が必要ライセンス数となります。

Calculation Results

Instance Type	Cloud Platform	Total Number of vCPU	Core Coefficient	Total Licenses	
+	AWS m6id.xlarge	AWS	16	1.1	17.6

注意：選択するインスタンスタイプにより、“Core Coefficient”値が異なり、その結果、計算結果が以下の様に小数点になることがあります。その場合は小数点以下は切り上げとなり、以下のケースでは18ライセンスとなります。

Core Plusライセンスの計算

既存環境におけるライセンス確認方法

既存環境におけるライセンスを確認方法について、以下の方法があります。

1. Veritas InfoScale Operations Manager (VIOM)

InfoScale 環境に必要な Core Plus クレジットを計算するオフラインおよびオンラインオプションを提供します。VIOM は、ベリタスサポートサイトからダウンロードできます。

2. SORT Data Collector Tool

お客様は、SORT Data Collector Toolをダウンロードして使用し、レポートを実行して、サーバー環境に展開されているInfoScaleのライセンス数を確認できます。

3. サードパーティツール

上記2つのオプションが利用できない場合、お客様はServiceNowなどのサードパーティのレポートツールを使用して、使用レポートを作成することができます。このレポートはベリタスが審査し、レポートの可否を決定します。

注意事項

■ ライセンス条項

EULA & PUR

最新の InfoScale エンドユーザーライセンス契約 (EULA) と InfoScale 製品使用权 (PUR) のコピーは、ベリタスの Web サイトで入手できます。「Service and License Agreements ページを参照し、InfoScale のセクションまでスクロールしてください。

Service and License Agreements:

<https://www.veritas.com/company/legal/license-agreements>

■ コールドディザスターリカバリーについて

組織は、有効なメンテナンスおよびサポート契約が締結されているInfoScaleライセンスのみをコールドディザスターリカバリー機器にインストールし、フェイルオーバーテストを目的として、PURに従って、12ヶ月間に累積30日のテスト日数を許可された本番使用と同時使用することができます。

注意：クラスタの待機ノードには適用できません。

目次

- このガイドの目的
- 製品の概要
- ライセンスの考え方
- **参考**

参考：2021年4月からの変更について

InfoScaleは、2021年4月から“**Server Tierライセンス**” および “**Coreライセンス**” から、“**Core Plus ライセンス**” に移行しています。Core Plus ライセンス に関する主な特徴となります。

項目	説明	補足説明
ライセンスカウント名	Core Plusライセンス	それまでのライセンスカウント名は、“Server Tier ライセンス”、“Core ライセンス”
ライセンス数量カウント方法	InfoScaleをインストール(使用する)する環境の CPU種類 ごとにベリタスで決定した Core係数 に基づき、必要なライセンス数を算出する。	<ul style="list-style-type: none">【物理環境】、【仮想環境】は使用するCPU名とCore数を確認する必要があります。【クラウド環境】は使用するインスタンスタイプとvCPU数を確認する必要があります。
具体的なカウント手段	InfoScale License Calculator により算出	InfoScale License Calculator https://sort.veritas.com/license_calc
InfoScale License Calculator により算出した結果の注意点	ライセンス数量算出の結果、小数点以下は 「切り上げ」 になります。	計算結果が12.2ライセンスとなった場合は13ライセンス必要となります。

参考資料

- **ライセンスガイド**

https://www.veritas.com/content/support/en_US/doc/Infoscale_LicensingGuide

- **サポートケースの開設または管理**

https://www.veritas.com/support/ja_JP

- **ライセンスキーの管理および取得について**

<https://www.veritas.com/ja/jp/company/licensing/proces>

- **Veritasの日本のお客様向け情報サイト (Veritas Solution Channel)**

<https://www.veritas-solution.com/>

A nighttime cityscape with a network overlay of blue dots and lines. The city lights are visible in the background, and the network overlay is in the foreground. The sky is a mix of blue and purple.

VERITAS™

ありがとうございました

ベリタステクノロジーズ合同会社

Copyright © 2023 Veritas Technologies, LLC. All rights reserved.

This document is provided for informational purposes only and is not intended as advertising. All warranties relating to the information in this document, either express or implied, are disclaimed to the maximum extent allowed by law. The information in this document is subject to change without notice.